

和歌山市議会六月定例議会は六月十七日から開催され、私は六月二十九日、一般質問にたち防災道路の早期建設、地震・津波などからの避難場所の設定、雨水ポンプ場の更新と新規着工を急ぐよう市長に要請しました。

磯の浦・坂田線 南北道 旧労災病院跡地への道路建設

「磯の浦・坂田線」二〇一四年度着工計画」と答弁

西脇地区は旧街道をそのまま生活道路として日常生活に利用しています。道路は狭く、車両同士の対向もままなりません。磯の浦地区の西端から坂田地区への道路建設を度々要請してきました。現在土地買収は約八三％が完了していますが、この五年間進んでいません。

私は「このままでは避難警告が出ても道路は混雑し避難は困難となる。期限を定めて早期着工を」と、市長に要請しました。

市長は「二〇一三年度には県に事業申請をし、二〇一四年度の工事着工をめざす」と答弁しました。

「磯の浦・坂田線」は市・長期総合計画に「地方道路整備事業」として建設計画を掲げています。

西脇小東（市道西脇十九号線）二〇一四年工事着工計画

西ノ庄地区の西脇小学校東側道路（市道西脇十九号線）の拡幅を要請しました。既に小学校用地の一部を削り拡幅されましたが、その後は中止した状態です。

私は「本脇、西ノ庄地区の住民は道路が狭く、今のままでは緊急避難はできない。拡幅計画の年度を定めて早期着工を」と求めました。

市は「来年度には境界測量を予定し、沿線地権者の総意を得て、平成二十五年度には工事着手ができるものと考えている」と答弁しました。

旧労災病院跡地・河西公園間道路の計画を

労災病院が移転し、現在跡地は「空き地」となっています。（裏面写真参照）西ノ庄・古屋地区の生活道路も極めて狭く「即避難」となれば、避難者と避難車両で大混雑が予測され、避避ができず被災することが予測されます。私は「労災病院の跡地を利用し、河西公園間の避難道路建設を」と要請しました。

市長は「労災病院・労働者健康福祉機構に道路敷設の際は河西公園まで連動する計画となるよう要請し、理解を得ている」と答弁。旧労災病院の跡地を利用した新規の道路計画案を示し、早期に道路着工するよう要請しました。



日本共産党市議会議員 渡辺忠広

渡辺忠広 無料生活相談所

毎週・水曜日 十三時～、十九時三〇～
和歌山市土入二四二一五
電話 〇七三ー四八〇ー五四七七
顧問には弁護士、司法書士、会計士、社会保険
労務士の方にお願ひしております。



坂田・磯ノ浦間の道路建設予定地。坂田地区から

日本共産党和歌山市議会議員

渡辺忠広ニュース

2011年 6月 No. 28

自宅 和歌山市木ノ本71-54

電話 073-452-5732

Mail watanabe @ naxnet.or.jp

市議団・電話 073-435-1113

津波避難場所の設置と民間施設への協力要請を！

河西地区の「津波避難所」指定は一箇所のみ！
人口に見合った避難場所、ビル指定を要請

和歌山市は津波避難ビルを十八箇所、津波避難場所一〇箇所を指定しています。臨海部の湊地区では避難ビル六箇所、避難場所指定が一箇所設置されています。しかし同じ海岸線沿いである河西地区は、磯の浦地区に一箇所の避難場所指定がされているだけで、市・県施設や民間建物への避難ビル指定がされていません。

今年六月、国は「中央防災会議」で「津波や地震で一人の犠牲者も出さないこと、対策が難しいからといって、津波の規模想定を下げるべきではない」と指摘しています。

私は「河西地区は、人口に見合う緊急時避難場所も避難ビルもない。市施設や県施設、また民間の高いビルを避難ビルとして指定要請をするべきだ。また避難場所も山沿いの高い場所に幾つものつくる計画の立案を」と要請しました。

七月をメドに避難施設を増設へ！

市は「津波浸水予想区域及びその周辺での調査は終了しており、今年七月をメドとし県・市の施設、民間建物への避難ビル指定への協力を依頼する」「特に北西部については活断層の存在に留意し、避難人口に見合った避難施設・避難場所の確保に備えたい」と答弁しました。

豪雨対策・ポンプ場の設置、老朽施設更新を要請

河西地区はもともと低湿地帯に市街地開発されたため、海拔もゼロメートル地帯、高くても三メートルに満たない土地柄です。少しの雨でも水はけが悪く道路冠水等の被害が発生しています。また老朽化した雨水ポンプ場もあり、私は更新を求めました。

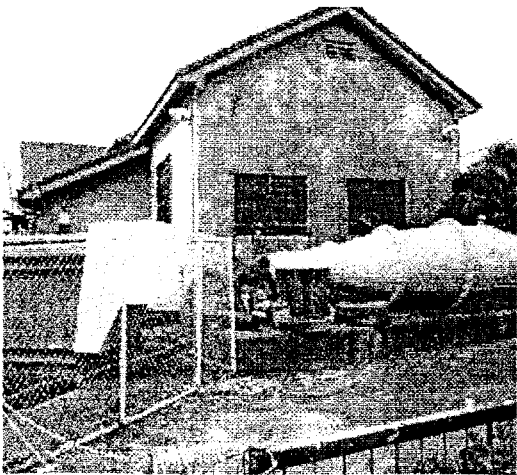
東松江地区に和歌山市は新たなポンプ場設置のため、既に土地買収は完了し、近隣住民の建設の承諾を待つ状態になっています。早急に近隣住民への協力を要請し早期着工を求めました。また雨水ポンプ場の中でも加太、島橋ポンプ場の老朽化を指摘し、早急に建て替えるを要請しました。島橋については防火用水溜め池「三角池」を建て替え用地として、また加太については早急に計画を立案する、と答弁しました。

渡辺忠広の所属委員会決まる

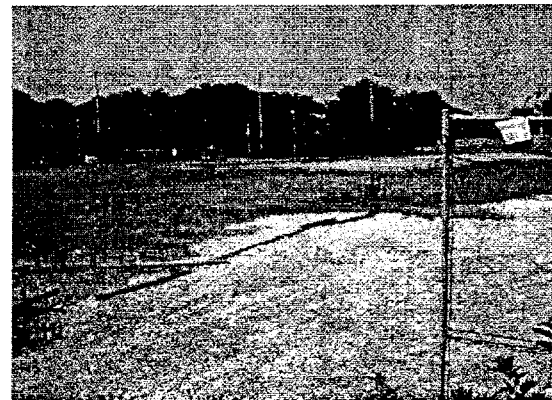
市議会での常任委員会への配属は「総務常任委員会」となりました。「総務委員会」は財政関連、4局（人事、選管、事務局、市長部局）、市総務局の審査をします。

また、特別委員会は「環境対策特別委員」に所属し市農業委員会委員、市都市計画審議会委員に選任されました。

それぞれ、市政運営で大切な部署への配属が決まりました。市民のみなさんの様々な要求実現のため全力で奮闘したい、と決意をしています。



老朽化し更新計画が明らかにされた島橋ポンプ場



1面、新規道路建設を要請した旧労災病院跡地